

レボセチリジン塩酸塩 ドライシロップ0.5%「日本臓器」

【この薬は？】

販売名	レボセチリジン塩酸塩ドライシロップ0.5%「日本臓器」 Levocetirizine Hydrochloride Dry syrup 0.5% “Nippon-zoki”
一般名	レボセチリジン塩酸塩 Levocetirizine Hydrochloride
含有量 (1g中)	レボセチリジン塩酸塩 5 mg 含有

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アレルギー性疾患治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、アレルギーの原因となる物質（ヒスタミン）や炎症をおこす物質の作用を抑え、アレルギー症状を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

〔成人〕

アレルギー性鼻炎

蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症

〔小児〕

アレルギー性鼻炎

蕁麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にレボセチリジン塩酸塩ドライシロップに含まれる成分あるいはピペラジン誘導体（セチリジン、ヒドロキシジンを含む）で過敏な反応を経験したことがある人
- ・腎臓に重い障害がある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・腎臓に障害のある人
- ・肝臓に障害のある人
- ・高齢の人
- ・てんかんなどのけいれんを起こす病気がある人、または過去にこれらの病気を起こした人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

特に腎臓に障害のある人は慎重に飲む量と回数が決められます。

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

	成人	小児		
		7 歳以上 15 歳未満	1 歳以上 7 歳未満	6 ヶ月以上 1 歳未満
一回量 (レボセチリジン 塩酸塩として)	1g * (5mg)	0.5g (2.5mg)	0.25g (1.25mg)	0.25g (1.25mg)
飲む回数	1 日 1 回 (就寝前)	1 日 2 回 (朝食後と就寝前)	1 日 2 回 (朝食後と就寝前)	1 日 1 回

*ただし、1 日最高量は 2g(レボセチリジン塩酸塩として 10mg)です。

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯に 1 回量ずつ混ぜ、混ぜたら放置せずすぐに飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

傾眠（眠気でぼんやりする）があらわれることがあります。特に小児では感情が激しくたかぶる、落ち着きのなさがあらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、すぐに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠気があらわれることがありますので、この薬を飲んでいるときは車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないでください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を中止してください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。

これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、出血が止まりにくい、顔や手足の筋肉がぴくつく、体がかゆくなる、疲れやすい、体がだるい、力が入らない
頭部	めまい、意識の消失、一時的にボーっとする、意識の低下
顔面	顔面蒼白（そうはく）、鼻血
眼	白目が黄色くなる
口や喉	喉のかゆみ、歯ぐきの出血、吐き気
胸部	動悸、息苦しい
腹部	食欲不振
手・足	手足が冷たくなる、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、あおあざができる、皮膚が黄色くなる
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	レボセチリジン塩酸塩ドライシロップ 0.5%「日本臓器」
形状	<div style="text-align: center;">  <p>0.5g 分包</p>  <p>バラ包装</p>  </div>
性状	橙色の粉末を含む粒状である。

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	レボセチリジン塩酸塩
添加物	乳糖水和物、β-シクロデキストリン、クエン酸ナトリウム水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、アセスルファミカリウム、スクラロース、軽質無水ケイ酸、黄色 5 号、香料

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：

日本臓器製薬株式会社 (<http://www.nippon-zoki.co.jp/>)

くすりの相談窓口

電話：0120-630-093、06-6233-6085

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く）